

2003. 11. 7改定

ホタテ健康壁「あわせ」 (外壁用)

施工マニュアル

本要領書をよく読み、
施工手順に従って施工してください



株式会社

ブルーム

本品は改良のため予告なく仕上げ要項を変更する場合があります。

ホタテ健康壁「あわせ」 外壁用

下地処理

(1) 木造下地の場合(ラス板、耐水合板)

ラス板(木ずり)合板の取り付けは、「木造住宅工事共通仕様書」を守ってください。

ラス工事は「木造住宅工事共通仕様書」を守ってください。

1. 材料
 - メタルラス・・・JIS規格品を使用してください。
2. フェルト張り
 - a) 縦張りとする
 - b) 継ぎ目は・・・縦・横とも90mm以上
たるみ、しわの無いように
タッカー釘を300mm間隔に打留める
3. 補強
 - a) 出隅、入隅で継ぎ目にならに用にするを原則とする。
継ぎ目になる場合は、幅200mm以上のJISA5505
プラス1号を増張りする。
 - b) 開口部などのコーナーは150×(450~600)mmの
プラス1号を出来るだけ開口部の隅に近づけて波ラスの上に斜めに二重張りする。

(2) コンクリート、ブロック下地の場合

下地に付いたエフロレッセンス、ホコリ、油分は、ワイヤーブラシ・
左官刷毛などでよく落としてください。

下地のひび割れは、そのまま仕上げの表面に現れますので、ひび割れの処理を
行ってください。

次にシーラー塗りを行ってください。(1回塗り)

ノボクリーンシーラー(ダイニッカ株)をお勧めします。
(ホルムアルデヒド放散等級F 製品です)

施工前の注意事項【下塗り、上塗りの共通】

本材はアルカリ性の為、木部との接面は養生用テープなどで養生してください。

寒冷期は暖かい日中に施工してください。気温が5℃以下になる恐れがある場合は作業を中止し、
やむを得ず作業される場合は、板囲いまたはシートなどで養生が必要です。

夏場、炎天下で作業をする場合は、覆いをするなどして、急激な乾燥を防ぐと共に、乾燥の恐れが
ある場合、適度な水打ちが必要です。

48時間以内に降雨が予想される場合は、雨養生を行って、雨水が塗り壁に直接かからないように
してください。

練った材料は使い切ってください。次の材料は別の練り樽を使い、練り上げてください。

(水の引き具合が違うため、ヘアークラックの原因になります)

左官仕上げ専用材の為、吹付け仕上げなどに使用しないでください。

本材にセメント、砂など他の骨材を入れて使用しないでください。

(3) 練り

練り樽で、基準水量の水で攪拌機にて練ってください。

練りこむ時間は下塗り用、上塗り用とも3分～5分です。
攪拌後、10分間程ねかしてから作業をしてください。

下地塗り、上塗りの材料は、翌日まで残せません。練った材料は使い切ってください。

(4) 施工 / 下地塗り

1 . 木造下地の場合 (ラス板、耐水合板)

a) ラスによくからまるように、標準塗り厚 (3 mm) まで塗り付け、
平らに塗り付けた後、頃あいを見て刷毛、ホーキ、クシなどで引いて、上塗りの
くい付きがよくなるような状態にしてください。

b) 上塗りまでの養生期間は、まる1日 (冬季で2日) 以上としてください。

2 . コンクリート、ブロック下地の場合

a) シーラーが乾いてから標準塗り厚3mmまで塗り付け、頃あいを見てムラ直しを行い、
平らにしてから刷毛引きなど表面を少し荒らしてください。

b) 上塗りまでの養生期間はまる1日 (冬季で2日) 以上としてください。

(5) 上塗り / 仕上げ

下塗の上に金ゴテで3mm厚に平らに塗ってください。

水の引き具合を見て、表面を刷毛引き、くし引き、ワイヤーブラシ等でテクスチャを
出してください。

しつこく押さえると、浮き水のため表面にテカリが出て、光って見えるようになる
ことがあります。